

針間鴨國造

志賀高穴穗御世、上毛野同祖御穗別命兒市入別命定賜國造、

明石國造

輕島豐明朝神應御世、大倭直同祖八代足尼兒都彌自足尼定賜國造、

〔播磨名所巡覽圖會〕播磨國は山陽道八州の首也、上古は飾磨郡より西を針間の國といひ、加茂

郡多賀郡を鴨の國といひ、赤石郡加古郡印南郡などを明石の國といひて、三郡の國なりしを後

世十二郡に分ち、播磨を以て一國の名とす、略下

〔續日本紀元明〕和銅元年三月丙午、正五位上巨勢朝臣邑治爲播磨守、

〔吾妻鏡三〕壽永三年二月十八日丁丑、武衛朝源被發、御使於京都、是洛陽警固以下事所被仰也、又播

磨、中略已上五箇國景時梶原實平土肥等遣專使、可令守護之由云云、

〔倭名類抄五〕播磨國國府在飾磨郡、行程上五日下三日、

〔忠見集〕播磨のこうにやどれるに、時鳥のなくを、

誰をかはこの山のほと、ぎす草の枕にたびくはなく

〔倭名類聚抄五〕播磨國略管十二註明石志賀古伊奈印南美飾磨國府揖保伊比赤穂阿加

佐用佐與完粟志波神埼加無多可賀茂美囊美奈

〔延喜式二〕播磨國、大管明石賀古印南伊奈飾磨國府揖保伊比赤穂阿加右爲近國

〔拾芥抄中末〕播磨大十四郡、明石賀古賀古伊奈印南美飾磨國府揖穂東赤穂佐用

完粟 神崎 多可 美壺靈 揖西 揖東

〔峯相記〕又問云、郡郷田地ノ様御存知候哉、答云、中略郡ハ元ハ十二郡、今ハ十七郡ト申ス、元ハ明石

賀古印南、飾磨、揖保、神崎、赤穂、佐用、完粟、多可、加茂、美囊、是也、今ハ飾磨ヲ分テ飾西、飾東トス、揖保ヲ